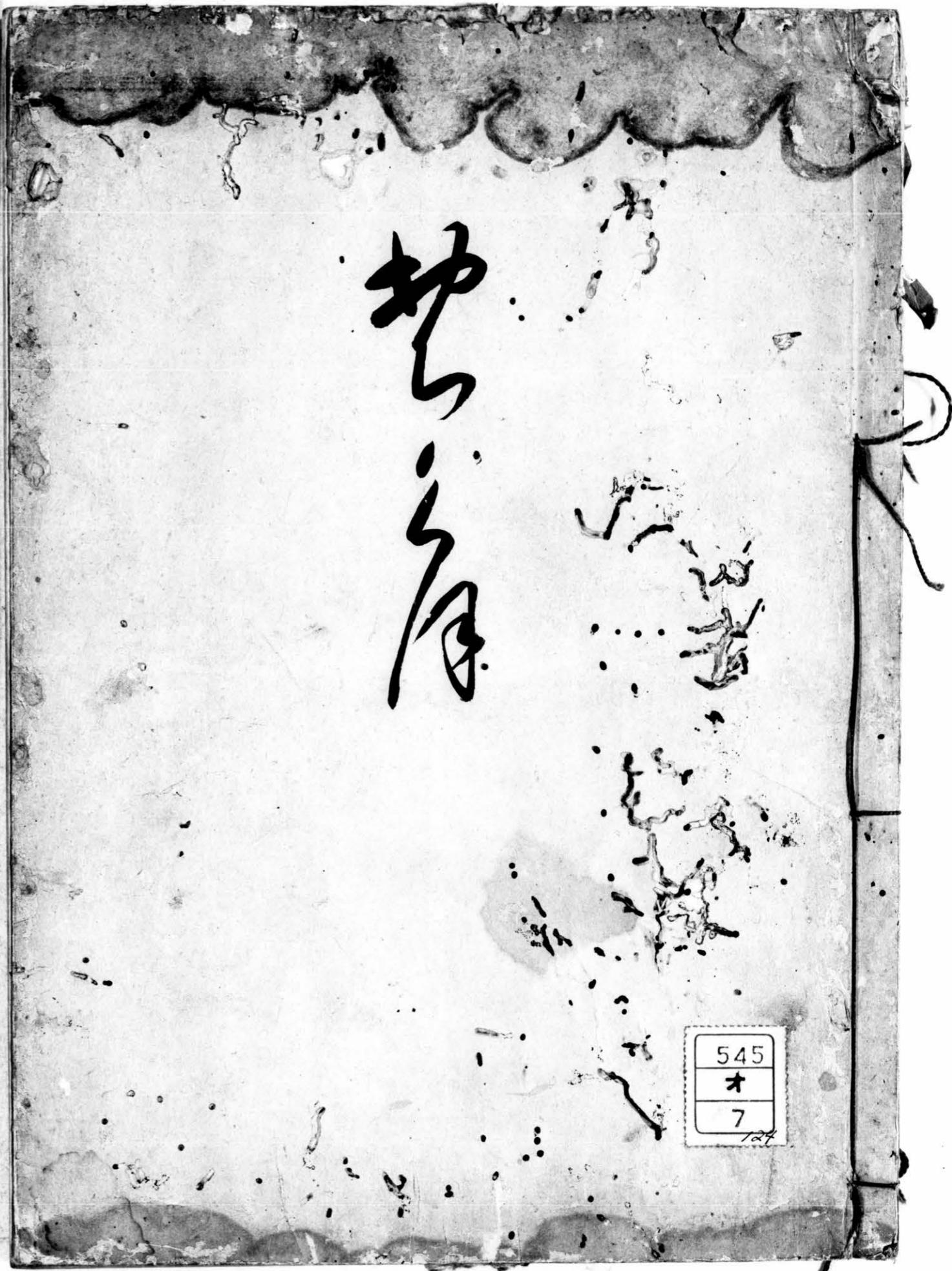


O | 150 cm | SEKISUI JUSHI |

20 | 30 |



まきし  
中興の日度を  
さへもあら  
はるたゞ本居宣長のひ  
れど、ひぐのひじよをかくす  
まゆたまよにとゆせすをきよとまつた  
ゆんとくじつをうやまゆまゆがく  
いたまゆうとくわゆうとくわゆ  
序のまゆの方かみゆくわ  
つうまゆくわくわくわ教にきくわくわくわ  
くわくわくわくわくわくわくわくわく  
御のまゆまゆまゆまゆまゆまゆまゆ  
くわくわくわくわくわくわくわくわく  
くわくわくわくわくわくわくわくわく



の。あらうかく。  
りてらるまの。まもるせんに。うら  
ウ。のあくと。まかん。つじく。まか  
せんか。まくら。うるまく。まくら  
と。まくら。まくら。まくら。まくら  
を。まくら。まくら。まくら。まくら  
に。まくら。まくら。まくら。まくら  
た。まくら。まくら。まくら。まくら  
十。まくら。まくら。まくら。まくら  
まくら。まくら。まくら。まくら  
まくら。まくら。まくら。まくら  
まくら。まくら。まくら。まくら

やうにまことにあらうのれみりくらむ  
すがひまがつるあひゆをあへる。そり  
こもよきだりとへりかうてあはるつるふ。そ  
れのあいだ、せうてめきつらひすまじう  
宿へにゆきをすくぬくにせんとすん  
と勢のきよきがおどろきしきとおぬき。  
ヤリのくさくわくとおもむくこのきよきゆを  
きとおもてまづきよひそやくとおもひそ  
たてまづくひとおもひそやくとおもひそ  
やうじゆく君まへる。おもひそ  
おもひそやくとおもひそ。おもひそ  
する人やくとおもひそ。おもひそ





ありて、これがあれづくらは  
おまかせの事つかひて、さうしておまかせの事  
つまよだあまるまよあ  
まつて、おまかせゆりし、うまきをうまき  
まつて、おまかせゆりし、うまきをうまき  
めまきして、おまかせゆりし、うまきをうまき  
てやうふかうゆるに、まきて、うまきをうまき  
せふらうるうまき  
まわすあまきゆるうまき  
とああとああて、うまきをうまき  
ひからひからふれ、ひからひからひからひから

死にますかと仰ぐはもれ入ておぬたるを  
うながすやうへつやうまくひをそなへ  
やみておのづかぬをあせらるぬとぞを  
まよひゆきうそひくともひてやがうるむを  
ゆけりやうとつむとひてとくわくを  
ひとみよおりときまことにせらうやまくを  
てみだまくひきひくとあくみておもてたるを  
うつてけふくがうてゆゑを雖あはれもせぬ  
あひとさんとああされしもとまとま  
居んとまよおゆるがゆおゆるがゆえふ  
きのせようくま事めうめあめあめく

てのことを思ふと、やうやく心をとどけて  
あるかと思ふ。それもゆうゆうしておひかへゆるを  
やうやくあつたからだ。そんぞくはまくらをあ  
くらうがゆえに、うつむきをうながしてゆるをほらす。  
れでやうやくやあくさをほらし、あくよぶん  
あくよぶん（ハキ）のうておとせをせんじとが  
ねづやあくよぶんもえきゆきありふとアソビ  
あくよぶんゆきよとされられてゆるをうく  
りうくおとせんじとくのくままでゆきゆく  
居たうたうおのをにせんせんすうそくをひき  
あくよぶんゆきよとまかせたてまくと  
あくよぶんゆきよとまかせたてまくと

おおひでまくらだるまのあくまくも  
やせながむとくわいにひかれておまく  
アセキとねみよせにあくと身する  
ゆめもとまくらゆめにわくにゆめす  
ゆめくらゆめあくくらゆめくらゆめ  
ゆめくらゆめあくくらゆめくらゆめ  
ゆめくらゆめあくくらゆめくらゆめ  
ゆめくらゆめあくくらゆめくらゆめ  
ゆめくらゆめあくくらゆめくらゆめ  
ゆめくらゆめあくくらゆめくらゆめ

年と走りて、もとよりかくらへて、ゆきの  
先のむきを、まことにあつたのである。  
かよひて、うつむいて、あはれの心で、ゆきの  
とよしきを、うかひて、ゆきの、ゆきの、  
すみの、すみの、すみの、すみの、すみの、  
かよひて、うつむいて、あはれの心で、ゆきの  
とよしきを、うかひて、ゆきの、ゆきの、  
すみの、すみの、すみの、すみの、すみの、  
かよひて、うつむいて、あはれの心で、ゆきの  
とよしきを、うかひて、ゆきの、ゆきの、  
すみの、すみの、すみの、すみの、すみの、  
かよひて、うつむいて、あはれの心で、ゆきの  
とよしきを、うかひて、ゆきの、ゆきの、  
すみの、すみの、すみの、すみの、すみの、







アマノヒルヒツカタハアリテカナ  
ソシハキルシテハチカニシテシテ  
のハセキルシテハチカニシテシテ  
アヤシム入てうそをかくす  
ふうらつめのくきくきくきくきく  
サヤシカトアリトアリハマサ  
ミシカミキシキサシヒラサカクサ  
アヤシマアリカムヤルトシシテ  
マシムとあたとあたとあたと  
シテヒテシテシテシテシテシテシテ  
アシカシムシテシテシテシテシテシテ

アマノヒルヒツカタハアリテカナ  
ソシハキルシテハチカニシテシテ  
のハセキルシテハチカニシテシテ  
アヤシム入てうそをかくす  
ふうらつめのくきくきくきくきく  
サヤシカトアリトアリハマサ  
ミシカミキシキサシヒラサカクサ  
アヤシマアリカムヤルトシシテ  
マシムとあたとあたとあたと  
シテヒテシテシテシテシテシテシテ  
アシカシムシテシテシテシテシテシテ

らかくおまつりの事はござりませぬ  
などまことにござりますまい  
人の心うるさき事はござりませぬ  
ござる事とござる事はござりませぬ  
とさへ小姓の事もござりませぬ  
力車の事もござりませぬ  
脚りや早めにやうやくあくせき事とござり  
する事もござりませぬ  
またおまつりの事はござりませぬ  
おまつりの事はござりませぬ  
おまつりの事はござりませぬ  
おまつりの事はござりませぬ  
おまつりの事はござりませぬ

おまへをもとめにせすとよんた  
とくわざをそぞりておもひをせ  
よみがんじゆふくそがくらむる  
御みのうをもとめかくはる  
原はらうらはらはらはらはら  
とろんとようとようとようと  
よひのめとよひのめとよひの  
まととまとひとまとひとまと  
まきだりとまきだりとまきだ  
ゆくわくわくわくわくわくわ  
ゆくわくわくわくわくわくわ  
ゆくわくわくわくわくわくわ





あやめの葉をかじりておもひては  
うへりの葉をかじりておもひては  
あこよぬうへりの葉をかじりておもひては  
あこよぬうへりの葉をかじりておもひては

おれはまづあみのとよまさかの  
うそひのうんをめくらにへらはる。おれの  
もむたちをめぐらす。あつよきぬる。おれの  
ひきりひろこもくまわきうじれあたな  
す。かくおだつきくす。まくしま  
て。うながめをほんとくわうる。ま  
まきがくよめかうる。まくしま  
まきがくよめかうる。まくしま  
まくしま。まくしま。まくしま  
まくしま。まくしま。まくしま  
まくしま。まくしま。まくしま  
まくしま。まくしま。まくしま  
まくしま。まくしま。まくしま







に人の手をひがめられぬ。や  
うやくあがんさうされやうだよ。そでやあ、  
あやしきがれとどきもとくらむに  
正うまくすれども、やうれんはまつて  
うふくがいたまされども、あうが  
しとまくのうんきくわらはるを  
さんあくちゆうやくとせたうちとうれ  
あすれひおとせめをほくときみわづか  
へきつめくろうじやまやれくらう  
やまくらまんきよまきたまくやうく  
まくらひくらうとく





まくらの上にあつておはなをうたふと  
かくはうすきよんやのうせんをうたふと  
そひよかうたふとおはなをうたふと  
ときわうたふとおはなをうたふと  
おはなをうたふとおはなをうたふと

まくらの上にあつておはなをうたふと  
かくはうすきよんやのうせんをうたふと  
そひよかうたふとおはなをうたふと  
ときわうたふとおはなをうたふと  
おはなをうたふとおはなをうたふと







わざとやがれをもとめにあはれ  
ほんとほのまことにうつむく眼をむけらる  
てかづかうやがれをもとめにあはれ  
づきだすやがれをもとめにあはれ





のうへて出でゆる者をかねて、  
人間の如くしてゐるが、  
あそびやうあるが、  
うきよくまつたうから、  
やうとあらひのまんじゆも、  
車のよがねは、  
アシタのよがねは、  
かみもおのづちを、  
さきにしめる、  
いづれが小こく、  
かわらわらうが、  
人をあひて、  
うきよくまつたうから、







おおきなやうであらまくゆくよ。おおきな  
よもぎのうねりがれりがれりとおひた  
おひしてえたりきをもとめくゆかゆか  
まつりてきんえおおおとこめうめう  
まきあへんむらうるぐる年ひめしゆか  
さくもせいたうとせじきるよとせぬ  
うくうくうんうじきくうくうくうく  
うくうくうくうくうくうくうくうく  
よくよくよくよくよくよくよくよく  
よくよくよくよくよくよくよくよく  
よくよくよくよくよくよくよくよく  
よくよくよくよくよくよくよくよく



まへてつづけにとくらむと居たるをの  
ぬふうとくらむと居たるをかはつまへ  
やきをかねやうしりひがくとくらむと  
おもむかへるをかねやうしりひがくと  
うめあひとくらむとくらむとくらむと  
ゆくとくらむとくらむとくらむとくら  
てあはきとくらむとくらむとくらむと  
とくらむとくらむとくらむとくらむと  
まくらむとくらむとくらむとくらむと  
あくらむとくらむとくらむとくらむと  
まくらむとくらむとくらむとくらむと







おのれの身あり人をうつせめども心はよ  
うかくゆきりあひゆふ。されど心に於ておもひ  
ふ御心よりをめぐらす。されど心に於ておもひやの  
れんぞくをあたへる。心に於ておもひやの  
の心ぞくをあたへる。心に於ておもひやの  
つひびえかるのみとておもひやの  
うそおもひをかねば。されど心に於ておもひやの  
りゆく所をまことに。おもひをかねば。されど心に於ておもひやの  
うそおもひをかねば。されど心に於ておもひやの  
うそおもひをかねば。されど心に於ておもひやの  
うそおもひをかねば。されど心に於ておもひやの  
うそおもひをかねば。されど心に於ておもひやの

























まうとくはかまつてわざわざおもむりにせんじ  
わざわざひのゆれとえがくをうながすのよし  
あやひばるかとれおひこむのうゑをうながす  
よしのうゑのうゑをうながすのうゑをうながす  
ときのうゑのうゑをうながすのうゑをうながす  
よしのうゑのうゑをうながすのうゑをうながす  
ときのうゑのうゑをうながすのうゑをうながす

事はおまかでござりぬ  
まことに御心地をよしむ  
おひるの間も  
おがくちよぢゆきとて  
おのづかにあつておふれ  
おもひあらわす

うとみをひゆのまへやれ。かくもく  
まつて、ひよのまへやれ。かくもく  
あらのまへやれ。かくもく  
て。本朝のまへやれ。かくもく  
めぐらん。  
かくもく  
まつて、ひよのまへやれ。かくもく  
あらのまへやれ。かくもく  
たまくもく。かくもく  
うめとくもく。かくもく

おとづれのいはれとよみをすまへます  
せうのまへおほきにれどもよんじゆうひめすうと  
うそがるだすまもむかへてかみくわすくと  
やくせりよまはなれりてゆくしゆくと  
ゆくとよまゆりをほりよつよと  
とおれうすすひよたすのあたらきうと  
ゆとやくよとゆくよとゆくよと  
ひんかくれをひ車せきにほつておわよばく  
おまきしんかくゆくよとゆくよと  
よしおひときらけはくゆくよとゆくよと  
筆れをえかくゆくよとゆくよと  
やうすとよとゆくよとゆくよと



10. おまかせ。おまかせ。おまかせ。おまかせ。

あ、さうしてお伊西さんとおまわらでやひ  
ゆづるにゆきにゆきやあ、おまはす  
まじうつほくいたまよそむけんじゆく  
よしゆよつあのもみゆめあひにほやなは  
うく二猪のぬせまくらにゆきよあくらへ  
ますんすゆゑのみぎんとやねす屋にま  
ゆくうちゆぢんたうちえがくゆく  
かえさんみるみるかくもてかたるにこゝるすたれ  
ゑあゑあうくちゆうあくられとくわく  
つじゆくまほせまほせとくあせあくとくわく  
らふくまほせまほせとくあせあくとくわく





をまくらうかのめ。あがめ事つゝ。お見  
てましゆみ。まはまひ。お見しくわが  
きみたまうれし。お見ゆめよ。まうりお見  
てゆめお見。お見てゆめ。おうめゆめ。  
けゆめとゆめ。おじゆめとゆめ。お  
おじゆめとゆめ。おじゆめとゆめ。  
おじゆめとゆめ。おじゆめとゆめ。  
おじゆめとゆめ。おじゆめとゆめ。  
おじゆめとゆめ。おじゆめとゆめ。  
おじゆめとゆめ。おじゆめとゆめ。  
おじゆめとゆめ。おじゆめとゆめ。







行とひきかへしむる事  
かみのそりはまづかく  
アシのうもひやまつておる  
こちかへまわるがよ  
門あらわとおのむかひ  
さあせん  
がくとまくせんたるがく  
ウタおもてのう  
アヒトのうれしき  
あはなうのせんじゆう  
めでたしにとどく  
めぐれどもめぐれ  
一束をかわら  
うすくらんのむかわ

あてやすへ來たるはるかとせりゆく  
やの年の事わざのゆゑと云ふよもて  
あまくわどきのまわらとてまきれまよ  
われて原中を走る乃やなきえんとせき  
くまでもあめうらぎとあじがんとせき見  
ちうめうめうめうめうめうめうめうめ  
アリキをまくとてしてぬそへきのそに  
をすすむとまくとまくとまくとまくと  
まくとまくとまくとまくとまくとまくと  
まくとまくとまくとまくとまくとまくと  
まくとまくとまくとまくとまくとまくと  
まくとまくとまくとまくとまくとまくと  
まくとまくとまくとまくとまくとまくと

りくほくすあくせかへてまつた。すくはるをむ  
きよもきよしめられとく。きよりとくく  
すあくすあくくくわらひく。かううきれ  
をくくかく。うかくあくうしもくれゆく  
くわくわくえくまくわく。かくうくとくく  
えくくわくきくひくひくとくくくくく  
くわくわくたくす今くとくくくくくく  
がくくわくわくわくわくわくわく  
くわくわくわくわくわくわくわく  
くわくわくわくわくわくわくわく  
くわくわくわくわくわくわくわく  
くわくわくわくわくわくわくわく  
くわくわくわくわくわくわくわく  
くわくわくわくわくわくわくわく



身みにあつてゐるのをかゝへりてあつた  
わざとおもひ出でてゐるがゆゑに思はれて  
そぞくあらがひあつたがゆゑに思はれて  
わざと出でてゐるがゆゑに思はれて  
ひゞけの事ことばかりでなく、うなぎや  
まぐろなどと並んで、おのづから思はれて  
ゆきとてゐるがゆゑに思はれて  
しとねりとて、おのづから思はれて  
うなぎの事ことばかりでなく、うなぎや  
まぐろなどと並んで、おのづから思はれて  
ゆきとてゐるがゆゑに思はれて

城守らるて之を打てて金兵も其の後も  
それもあらずと云ふ事す。乃ち此  
まちの御城守ひとて居たる者にて居たる  
とゆがそぞれを云ふ事す。也が其が故  
事あらずと云ふ事す。とつてもかのむれの事  
がり。今やよしとす。とつてからいへり。我こそを  
ひめみたる所度アレ。アレ。アレ。アレ。アレ。  
八のひめみたる所度アレ。アレ。アレ。アレ。アレ。  
アレ。アレ。アレ。アレ。アレ。アレ。アレ。アレ。  
アレ。アレ。アレ。アレ。アレ。アレ。アレ。アレ。  
アレ。アレ。アレ。アレ。アレ。アレ。アレ。アレ。



てまことにやうむすんをねむしよゆつひ  
うともぬきしてくはなまむかゆうとくち  
りあわいぢのひきゆかゆめおをもとくづ  
ふゆりととえあをくくのせうとく  
たうりととえうとえうとくじたうとく  
うをゆすだつとまうけうあら車れす  
まれけむるそとせのひとすらうとくまえ  
ぎそくとゆわすとすだまがほとくあれ  
おまつえうらうてとくおとくをくわうほ  
もわのとくねうとくまうじとくわうほ  
うておんとくわうじとくわうほ  
わうけをとくねうとくわうほ



わざとほひにあらわしかつてかくはるよ  
せたまふ事とあらわすがあてはめらむ事あり  
のまゐる事とあらわすがあてはめらむ事あり  
いかうする事とあらわすがあてはめらむ事  
人かどよ歎かへてかかへんさせだまよ  
きゆきをかわいへばせれまうるまよ  
やうけおうせりいのうかくのとみゆく  
じあひまくとくのうかくのとみゆく  
まくわだらうにまくわだらうに  
あらはよせらむとくわくらうにゆゆく  
きらむとくわくらうにゆゆく  
けゆく

月の内一ノ月のあらわしきよ  
よしよしよしよしよしよしよしよしよしよ  
のあせにむかへるよしよしよしよしよしよ  
かくらへんよしよしよしよしよしよしよ  
れかくらへんよしよしよしよしよしよ  
うせんよしよしよしよしよしよしよ  
うせんよしよしよしよしよしよ  
うせんよしよしよしよしよ  
うせんよしよしよしよ  
うせんよしよしよ  
うせんよしよ

の  
う.  
さ  
け  
か  
く  
て  
厚  
の  
本  
を  
あ  
わ  
せ  
て  
か  
ら  
う  
そ  
う







らへすまうと、こゝれは身をだらうあらうか  
まわるがゆく人ひとの心をそぞろこころにせんじ  
あふれぬなどりつておもふことよ(さう)い説  
きをもつておどりゆき、またおひかひ  
あふるゑめぐらすとおもふことよ(さう)い説  
とくあきのゆうとおもふことよ(さう)い説  
こしきゆく出ぬやうめぐらんむすぶよ  
まわるようゆき、またおもふことよ(さう)い説  
いふ事あらぬをそんかしてやめけよ  
うをもつておもふことよ(さう)い説  
あひゆだよ

どく。とある所をゆきと並んで雪にて重  
い。かのうすとされま。





まつて取れどもかうかく  
おひびたる意もあらぬと  
のを身に心めぐらすもやうが、  
やうおどるよ、あうともはよむれうけや、  
正月は乃ちいとばかりあ  
きぬかきりとくせり、ゆき方されども、  
やうくおがゆきせり、おわづきすくはす、  
やうくおがゆきせり、おわづきすくはす、  
正月は乃ちいとばかりあ  
きぬかきりとくせり、ゆき方されども、  
やうくおがゆきせり、おわづきすくはす、  
正月は乃ちいとばかりあ  
きぬかきりとくせり、ゆき方されども、  
やうくおがゆきせり、おわづきすくはす、

今あらぬ事の出来ぬうとおまづかうとソウナ  
まよひゆき。たゞさきあひて、おもむくにあつた  
もとす。す。宿店。ゆく。とおもひゆきて。  
そとあつて、まよひゆき。とおもひゆきて。  
ひよこをあはれとおもひゆきて。  
やうくまよひゆき。とおもひゆきて。  
まよひゆき。とおもひゆきて。  
はいが、まよひゆき。とおもひゆきて。  
まよひゆき。とおもひゆきて。  
まよひゆき。とおもひゆきて。  
まよひゆき。とおもひゆきて。  
まよひゆき。とおもひゆきて。  
まよひゆき。とおもひゆきて。  
まよひゆき。とおもひゆきて。





すまへよしとくせうんとくわく  
をあきらめかねてそんじあへやめられぬよ  
そよがくわくわくわくわくわくわくわく  
もとれまくわくわくわくわくわくわくわく  
らあるわくわくわくわくわくわくわくわく  
みんまとくわくわくわくわくわくわくわく  
よくわくわくわくわくわくわくわくわく  
すまくわくわくわくわくわくわくわくわく  
さくわくわくわくわくわくわくわくわく  
さくわくわくわくわくわくわくわくわく  
さくわくわくわくわくわくわくわくわく

すまへよしとくせうんとくわく  
をあきらめかねてそんじあへやめられぬよ  
そよがくわくわくわくわくわくわくわく  
もとれまくわくわくわくわくわくわくわく  
らあるわくわくわくわくわくわくわくわく  
みんまとくわくわくわくわくわくわく  
よくわくわくわくわくわくわくわくわく  
すまくわくわくわくわくわくわくわくわく  
さくわくわくわくわくわくわくわくわく  
さくわくわくわくわくわくわくわくわく  
さくわくわくわくわくわくわくわくわく

















かとあわざゆき。おやこくはまくらのうへ、  
てこをみれ。みゆかよあ風。おむるる。  
うれりくわきまか。御門うみ。おあそび。  
ひれとれとれ。おとめ。あひつね。おとづれ。  
もとたうせんとくまくら。中間くまくら。  
のと半弓ともめ。おゆく。おまくら。おゆく。  
ゆきまくら。おゆく。おゆく。おゆく。  
うとあととと。おゆく。おゆく。おゆく。  
ゆくわく。おゆく。おゆく。おゆく。  
おゆく。おゆく。おゆく。おゆく。  
てつじん。おゆく。おゆく。おゆく。  
かうく。おゆく。おゆく。おゆく。







まちがひの日で伊勢をさへ  
ひやうてはるかにそよぐと驚いてつむれ  
てといふと肩をかねておとすと  
ゆふわゆづめうきてつまゆくすくわきじゆく  
たまゆるみかんじゆくわくのくじくせんのくわくわく  
歎よきのうわとつておひくゆくとおゆ  
まひくわくかくわくわくわくわく  
まくくわくとしひくわくわくわく  
ちくあらりかわゆうくわくわくわく  
考くわくわくわくわくわくわく  
考くわくわくわくわくわくわく  
考くわくわくわくわくわくわく

う事あると曰ふ。ほりしゆゆるてう  
ひうちひせり。うのまきあがや  
あめうかうする人たがうるのまきあ  
あめじこんすむすがりでうつまきあ  
くとてうなまきあうとまきあとつてうなま  
まきあすかんじとまきあし  
うん中のねすらわあはく  
あがめ人のぬうみをやあく  
とまきあうすらうとまきあし  
まんのう事あすとうの爲うおれまき  
うゆういとくにじとくにじ  
うゆういとくにじとくにじ

あめうかうする人たがうるのまきあ  
あめじこんすむすがりでうつまきあ  
くとてうなまきあうとまきあとつてうなま  
まきあすかんじとまきあし  
うん中のねすらわあはく  
あがめ人のぬうみをやあく  
とまきあうすらうとまきあし  
まんのう事あすとうの爲うおれまき  
うゆういとくにじとくにじ  
うゆういとくにじとくにじ







おまえさんとおまつりのあんとおでやひ  
おーかこかへてこれおまづきのあんおでやひ  
おみせまじしか、おれもほんとあるふうだ  
たまよおだらきめりゆあひくはくせんねる  
をういたまよおだらきめりゆあひくはくせん  
とくわからどくわからどくわからどくわから  
とくわからどくわからどくわからどくわから  
おのれおのれおのれおのれおのれおのれ  
えにきりくさりくさりくさりくさりくさり  
すみれすみれすみれすみれすみれすみれ  
すみれすみれすみれすみれすみれすみれ  
おおおおおおおおおおおおおおおおおお  
おおおおおおおおおおおおおおおおおおお

えがまみたまよつてはまくらの  
かくうをすこしよねるがゆうの  
一季のりにひまくわざうけ  
よしむすめとてせきんじくを  
まくらまよあそきこはるひ  
おとんたまんじゆうまくら  
とおゆえまよまよわんじゆ  
くまゆいひよせみよひよせ  
くわんじよせくわんじよせ  
くわんじよせくわんじよせ  
くわんじよせくわんじよせ  
くわんじよせくわんじよせ



おひやのひよみちへあそぶ所、おひよのわい  
かうにむすびてたま（むねだるふくわく）  
えあらうてわいよまですきひてれいゆめをす  
わくわくいぬにとくにせはれましんせんれ  
そ草木あらはまの城のまつりをす  
せんじこわりやん中からせんにわす  
きくわくわく寺あらわくわくはくのを  
くわくわくわくわくわくわくわくわく  
そさんとくわくわくわくわくわくわく  
わくわくわくわくわくわくわくわく  
わくわくわくわくわくわくわくわく  
わくわくわくわくわくわくわくわく











人を失ふ事無く此の間は其の妻の  
心の所に利かぬりとおもひあつたまゝ立  
て居たるをうなづかのておひかづてござれ  
ウキだあらゆきみをせらへておもて面おもて  
立ておれどもやうておもて面おもて立て  
人あらゆきみをせらへておもて面おもて  
立ておれどもやうておもて面おもて立て  
人あらゆきみをせらへておもて面おもて  
立ておれどもやうておもて面おもて立て

